

観光資源としての手取キャニオンロード自転車道とその可能性の再発見

指導教員	金城大学短期大学部	教授	矢澤建明			
参加学生	2年	石垣胡桃 塩川美咲 義原和	亀田優牙 西谷美桜	小坂利壱 船本奈苗	坂川詩歩 松原真央	坂田彩月 吉田滯

本ゼミナール活動にご協力くださいました、e-CRUTTTO の越村様、石川県サイクリング協会理事長の岡本様、白山商工会議所青年部の古瀬様、鳥越一向一揆歴史館館長の小阪様、GEORIDE HAKUSAN 実行委員長の竹島様、株式会社日本海コンサルタントの中野様、白山市議会議員の池元様、白山ジオライド推進協議会の皆様、GEORIDE HAKUSAN 実行委員会の皆様、サイクリングガイドの皆様、ありがとうございました。また、私たちのつたないアンケート調査にご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。



金城大学短期大学部矢澤ゼミ
「金城花子」Instagram

観光資源としての手取キャニオンロード自転車道とその可能性の再発見



金城大学短期大学部 矢澤ゼミ

石垣胡桃、亀田優汰、小坂利寿、坂川詩歩、坂田彩月、塩川美味、西谷美桜、船本奈苗、松原真央、吉田滯、義原 和

はじめに

白山市の手取キャニオンロード自転車道は、廃線跡を利用し手取峡谷の絶景と里山の風景を楽しむサイクリングロードである。しかし、昨年度の調査によるとサイクリングに来る人は多いが県内の方ばかりで知名度は低く、車止めポールの問題もあり、観光資源として生かされていないことが分かった。今年度はポール問題よりも、県外やサイクリスト以外の方に PR することに注力した。昨年度同様、鶴来のレンタサイクルショップ e-CRUTTTO 様と協力し、下記の活動を実施した。

活動内容

①「旧加賀一の宮駅前」手取キャニオンロード美化活動



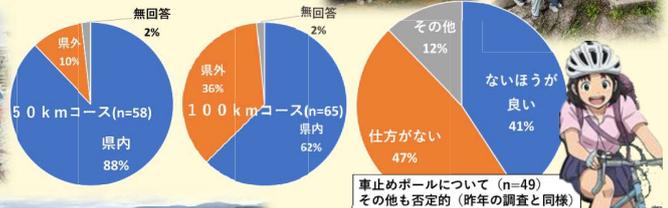
白山ジオライド推進協議会に協力し、手取キャニオンロード美化活動を行った



② GEORIDE HAKUSAN 協力、手取キャニオンロード周辺の独自調査、アンケート調査



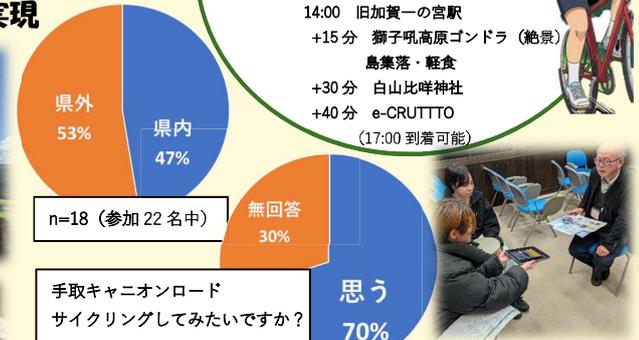
GEORIDE HAKUSAN サイクリングイベント



③ 昨年度提案ツアー案のトレース



④ 全国山城サミット・鳥越センゴクフェスタでの、e-BIKE ツアーの実現



⑤ 各種イベント、PR 活動



日本商工会議所青年部北信越大会

ほくてつ電車祭り

⑥ 意見交換



石川県サイクリング協会理事長

白山市議との意見交換「自転車活用推進計画」策定に向けて

今後の課題

- 絶景ツアーのブラッシュアップ
- 親子などファミリー向けのツアーの開発・子ども向けレンタサイクルの拡充
- 白山市による「自転車活用推進計画」策定への協力
行政への直接的協力は難しいかもしれないが、学生の声としてあげてほしい。



1. 活動の要約

金城大学短期大学部ビジネス実務学科では、2年次の少人数ゼミナールを必修としており、本ゼミナールでは継続的に地域課題の解決に取り組んでいる。昨年度の調査結果を踏まえ、今年度も白山麓の「手取キャニオンロード」の活性化を目的に、県外利用者や非サイクリスト層への認知拡大（PR活動）および多角的なフィールドワークを実施した。また、白山市が「自転車活用推進計画」を策定していない点に着目し、関係各所との意見交換を通じて行政への提言も行った。

2. 活動の目的

白山市の手取キャニオンロード自転車道は、白山手取川ジオパークの「川と峡谷のエリア」をダイレクトに体感できる優れた観光資源である。しかし、昨年度の調査では利用者の大半が県内層であり、国内外のサイクリストへの認知不足が浮き彫りとなった。また、自転車道上の車止めポールが走行の妨げとなっており、地域として真にサイクリストを歓迎する体制が整っているかという点にも課題があった。近隣県では、富山県の「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルルートに選定され、福井県の「わかさいくる」も選定に意欲的である。こうした中、石川県においても潜在的な観光資源を埋没させることなく、有効活用を図ることが本活動の目的である。

3. 活動の内容

	日付	活動内容	学生参加人数
1	5/10(土)	旧加賀一の宮駅手取キャニオンロード美化活動1	9
2	5/18(日)	GEORIDE HAKUSAN エイドステーション協力・アンケート	11
3	5/21(水)	インバウンドサイクリングツアー取材・アンケート	11
4	6/14(土)	旧加賀一の宮駅手取キャニオンロード美化活動2・草刈	3
5	6/28(土)	手取キャニオンロード～一里野までのルート視察・鳥越城視察	10
6	7/5(土)	e-BIKE 体験で獅子吼高原・一里野ゴンドラ比較	9
7	8/5(火)	山城サミット用に鳥越城跡へのサイクリング体験	2
8	9/15(月)	山城サミット白山大会・鳥越センゴクフェスタ(受付・PR・アンケート)	9
9	10/ 4(土)	日本商工会議所青年部(YEG)北信越大会・ジオサイクリングツアーに協力(雨で中止)PR活動のみ実施	10
10	10/12(日)	ほくてつ電車まつり・PR・サイクリングガイド・アンケート	7
11	10/20(月)	昨年度提案サイクリングツアー案のトレース(後半雨でまわれず)	11
12	11/ 5(水)	ナショナルサイクルルート勉強会	10
13	11/12(水)	旧加賀一の宮駅手取キャニオンロード美化活動3(落ち葉掃き) まちなり BYUUN・サイクルトレイン体験(サイクルトレインは雨で中止)	2
14	11/12(水)	10/20にできなかった部分のサイクリングツアー案の確認	11
15	11/19(水)	石川県サイクリング協会理事長との意見交換	11
16	1/ 7(水)	GEORIDE HAKUSAN 実行委員長との意見交換	3
17	1/ 8(木)	日本海コンサルタント(まちなり事務局)との意見交換	2
18	1/ 8(木)	池元市議との意見交換	2
19	1/15(木)	全国山城サミット実行委員長との意見交換	2
20	2/ 6(金)	金城大学短期大学部ビジネス実務学科産学連携ゼミナール発表会	11
21	2/21(土)	大学コンソーシアム石川「地域課題研究ゼミナール支援事業」報告会	11

上記一覧の通り、レンタサイクルショップ「e-CRUTTTO」をはじめとする地域の方の協力のもと、多岐にわたる活動を展開した。昨年度から継続課題となっていた「車止めポール」等のハード面の改善については、学生による直接的な解決は困難であると判断し、今年度はPR活動を中心としたソフト面の活動に重点を置いた。具体的には「全国山城サミット・鳥越センゴクフェスタ」や「日本商工会議所青年部（YEG）北信越大会」、「ほくてつ電車まつり」等への協力・参画を通じ、普段サイクリングをしない層へのアプローチを強化した。また、SNSを用いた情報発信や、昨年度提案したツアールートの実証走行（トレース）も実施した。これらの活動を通じて得られた知見に基づき、専門家や行政関係者との意見交換を重ね、課題解決に向けた働きかけを行った。

4. 活動の成果

今年度の主な成果として、以下の5点を挙げる。

- **デジタル・プレゼンスの向上:** イベント協力や独自 SNS (Instagram) による発信の結果かはわからないが、「#手取キャニオンロード」の投稿件数が昨年度 500 件台から 1,000 件以上に増加した。
- **広域連携による体験事業の実現:** 全国山城サミット白山大会において、実行委員会と e-CRUTTTO 様を橋渡しすることで、当初計画になかった e-BIKE ツアーを実現させ、県外参加者へ手取キャニオンロードを PR した。
- **潜在層（非サイクリスト）への認知拡大:** ほくてつ電車まつりや YEG 大会を通じ、自転車愛好家以外の層へも自転車道の魅力を周知した。
- **ツアールートの有効性検証:** 昨年度提案のツアー案について実証走行を行い、所要時間や難易度の妥当性を確認した。
- **行政への政策提言:** 白山市が「自転車活用推進計画」を未策定である点について、市議会議員へ改善の必要性を提言した。

5. 今後の活動計画

今回の活動を通じて明確になった以下の課題を、次年度以降の活動へと繋げたい。

- **ターゲット別のツアー細分化:** 昨年度考案のツアーは、景観は優れているものの初心者には負荷が高い。今後はコースを細分化し、体力や経験に応じた「絶景ポイント周遊プラン」を整備することで、より幅広い層へ訴求できると考える。
- **ファミリー層のニーズへの対応:** 「ほくてつ電車まつり」での調査により、親子連れの参加希望が非常に多いことが判明した。子ども用レンタサイクルの拡充や、親子で楽しめるツアーの開発が、ファンを増やす鍵となる。
- **計画策定に向けた継続的な働きかけ:** 行政の「自転車活用推進計画」策定には至っていないが、観光および安全面でのメリットは共有できた。今後も、サイクルツーリズムとジオパーク体験を核とした計画策定を促す活動を継続していく。

6. 活動に対する地域からの評価（レンタサイクルショップ e-CRUTTTO 越村浩史さまより）

昨年度に引き続き、手取キャニオンロードの観光資源としての可能性を掘り下げていただきました。昨年先輩方が考えたサイクリングツアーを実施し、学生目線での手取キャニオンロードの良さを SNS で発信したり、山城サミットやほくてつ電車まつりでは一般客に PR やアンケート活動を通して認知向上を図ったりするなど、より踏み込んだ活動になったと思います。手取キャニオンロードの認知度は確実に上がっていると実感しています。白山市との自転車活用推進計画の意見交換や石川県のナショナルサイクルルート指定への方向性で学んだ内容を活かし、手取キャニオンロードの可能性を今後も多くの方に発信していけるよう活動が続くことを願っています。